

[View this email in your browser](#)



連携展覧会「オブジェクト・リーディング：精読八景」開催まで、あと3日。KeMCoは7つの連携部署とともに会場の展示・設営を全速力で進めています。今月のKeMCo Voiceでは、精読八景展を中心に伝えたいと思います。

KeMCoの近況

連携展覧会「オブジェクトリーディング：精読八景」



8月16日（月）より、連携展覧会「オブジェクトリーディング：精読八景」を開催いたします。

同じモノ（オブジェクト）を見ていても、その読み解き方は人によってさまざまです。本展では、三田キャンパスで文化財を巡る活動を行う8つの部門から、16点のオブジェクトが出品されます。不思議な組み合わせで並ぶこれらのオブジェクトは、来館者にモノの見方、そしてモノとモノの関係性をどう読み解くのかを問いかけます。

会場には、オブジェクトをじっくりと見つめ、その組み合わせから生まれる関係性を読み解くことを手助けするために、本展独自のワークシート「八景シート」が用意されています。このワークシートを手掛かりに、展示に参加することができます。第2室（Room 2）には、慶應義塾の文化財を紹介するポータルサイト「Keio Object Hub」のデモをはじめとして、デジタル技術を活用し、KeMCoならではの切り口で出品作品を体験するコンテンツを用意しています。

あわせて、三田キャンパスの歴史的建造物をテラス越しに眺めながら、出品作品に関わるカタログや報告書などの研究資料を通して、知識をさらに深めることができる小さなライブ러리も併設します。

会期

2021年8月16日（月）～9月17日（金）
11:00～18:00（土・日・祝は休館）

主催

慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学文学部古文書室、慶應義塾大学附属研究所所道文庫、慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻、慶應義塾福澤研究センター、慶應義塾ミュージアム・commons、慶應義塾大学三田メディアセンター、慶應義塾大学文学部民族学考古学専攻

主な出品作品



1. アート・センター：土方純興、舞踏謡『なだれ舞』、1972年
2. 文学部古文書室：尾崎石城『石城日記』、江戸時代末期(文久元-2年)
3. 附属研究所所道文庫：『短冊手鑑』、南北朝-江戸時代前期
4. 文学部美学美術史学専攻：アルブレヒト・デュラー、《四人の魔女》、1497年
5. 福澤研究センター：『東台大戦争図 明治元戊辰年五月十五日』、1874年頃
6. 三田メディアセンター：『唐翠始持運鳥獣之図』より『煎煉之図』、江戸時代中-後期(慶應義塾図書館)
7. 文学部民族学考古学専攻：『日本最古の埋蔵犬骨』、縄文時代早期末(BC5500-5300年頃)

[ご予約はこちら](#)

KeMCo Studi/O特別開室

8月16日（月）より開催される連携展覧会「オブジェクトリーディング：精読八景」に合わせ、特別開室いたします。KeMCo Studi/Oでは、KeMCo Studi/Oの設備や活動の紹介のほか、大山エンリコイサム《FFIGURATI #314》をご覧いただけます。

日時：2021年8月16日（月）、8月24日（火）、9月1日（水）、9月9日（木）、9月17日（金）

※ 連携展覧会「オブジェクト・リーディング：精読八景」のご予約が必要です。

[KeMCo Studi/O 特別開室](#)

Open Storage! #05



春学期後半から、文学部美学美術史学専攻 佐々木康之先生の院生ゼミと協働で、センチュリー赤尾コレクション彫刻作品の調査を開始しました。

調査対象第一号は、木造阿弥陀如来立像 (AW-CEN-000270-0000)。像高は65.4cmとやや小ぶりですが、鎌倉時代初期の仏師快慶が確立した、いわゆる「三尺阿弥陀」の形式を示します。三尺阿弥陀像は時代が降るにつれて服のまとい方が装飾的になる傾向があり、本作も肩まわりの衣文の動きが目立ちます。一方で、若々しい面部や端正な全身のバランスは優れており、本作の特徴と言えるでしょう。詳細な観察によって、構造や制作年代についても新たな知見を得ることができ、学生とKeMCoの双方にとって、とても有意義な調査となりました。オープン・デポを広く使い、たっぷり時間をかけて作品を実現できるのは、学内連携の恩恵に他なりません。調査の成果はKeio Object Hubにて順次公開していく予定です。

島田 和 (KeMCo学芸員補)

空き地

学芸スタッフ 佐藤 小百合

はじめまして、学部4年の佐藤小百合です。今年からKeMCoで学芸スタッフをしており、現在学芸員資格を取得中です。さまざまなものに「触れる」ことが難しくなってきた昨今、ミュージアムを支えている学芸員の様々な仕事に触れ、学ぶことができる恵まれた環境に、感謝している毎日です。

さて今年は、4月にKeMCo、そして7月よりついに福澤諭吉記念慶應義塾史展示館が一般開館し、三田キャンパスに新たに二つの施設がオープンするビッグイヤーとなりました。以前のようにふらっと展覧会を訪れることが難しくなっている今だからこそ、学生生活という日常の一コマに、豊富な大学コレクションとじっくり向き合うことができるKeMCoという「空き地」がある贅沢さが身にしみています。

特色あふれるコレクションの数々はKeio Object Hubからご覧いただくこともできますが、ぜひ実際の作品と向き合う時間をお作りいただければ幸いです。

お知らせ

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・commonsへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> [ご意見・ご感想はこちら](#)

次回のKeMCo Voiceは2021年9月に配信予定です。
[過去のニュースメールはこちら](#)



Copyright © 2019-2021 慶應義塾ミュージアム・commons Keio Museum Commons

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

Tel: 03-5427-2021 Fax: 03-5427-2022

[お問い合わせ](#)

[KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら](#)

This email was sent to <<Email Address>>

[why did I get this?](#) [unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)
慶應義塾ミュージアム・commons 2-15-45Minato Miralato-ku, Tokyo 108-8345 Japan

